（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等児童デイサービスパリティ

公表日　令和７年　５月　30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・活動内容に応じてスペースを確保するように工夫している。	・窓から外が眺められる環境であるが、・物などが多くスペースを奪っている部分があるので整理整頓が必要だと思われる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・児童の人数に対して適切な職員配置だと思っています。	・適切な人数で対応できるように努めていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、職員との配慮が適切になされているか。	4		・休憩できる場所や学習を行う場所など子どもたちが分かりやすいようにそれぞれの役割などを定ています。	・物の場所が決まっていなこともあり職員の整理が出来ていないので整理していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごける環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・こまめに掃除をしたり、活動がしやすいように家具などを配置しています。	・物などが多く置かれて行ちんどくにも思われるので整理整頓を行っていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・個別の場所はないが、他の配置で休憩する場所などを分けている。	・セラピル用で集中して学びをする空間を作っています。・個別での対応や場面などを別けたりの環境にできる場所を作りたい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（計画策定と実へ応り）に、広く職員が参画しているか。	4		・活動に入る前に事前ミーティングを行い共有している。また、活動後はしっかりと振り返りを行っている。	・出勤時間が異なる職員もいるため、みんながミーティングに参加できるように時間を考えていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その結果を業務改善につなげているか。	4		・保護者の意見を取り入れ改善するように努めている。	・中々自分の意見を伝えきれない保護者もいるため、選み易れるようにコミュニケーションをとっていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・朝のミーティングを行い、お互いの意見や情報を共有している。・月に一度ラッキミーティングを行っている。	・出勤時間がバラバラな職員もいるため、時間をずらしてのミーティングを検討中
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・協力会社による定期的な評価を受けている。業務改善が出来ていないこともあるので改善できるように努めていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・連絡別此の研修や専門の先生をお呼びして研修を行っている。	・研修で得た情報を共有して支援に繋げていけるようにしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を支援順に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	子どもに合わせての計画を作成している。	・他の職員と情報共有を行い現定を行なっているが、設定できていない職員等への全員で話ができるように配慮したい。
	13	放課後等デイサービス計画に、支援内容、目標及び達成時期、提供すべき支援内容などが定められているか。	4		職員でミーティングを行い、情報を共有している。	作成する際は、ミーティング毎行なっているが、時期等によって異しあり、参加できない職員もいるので時期の配慮が必要だと感じた。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画に沿った支援を行うように活動を考えている。	集団活動が多いので、個別の対応も入れていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の観察等など他者インフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々観察を行い、気になったことは共有するようにしています。	定期的にアセスメントをとり、良い支援に繋げていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域機関」のなかに及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのよて、具体的な支援内容が設定されているか。	4		５領域に合わせて作成するように努めている。	５領域についてはどよくわかっていない職員もいるので、しっかりと説明していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		みんなで話を行い作成に努めている。	今後も継続して行えるようにしていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		体を動かす活動や静かに行う作業などを選ばながら他の組んでいる。	飽りが見られるので、新しい活動も考えていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別や集団で行う活動を取り入れている。	集団活動が主になっているので個別での活動も増やしていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	活動が始まる前に資料を確認している。職員の配置なども話し合っている。	まだ、子ども達の障害性を理解できていない職員もいるため、情報交換が必要だと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	次の日の朝などにミーティングを行い、良かった点・反省点などを話をしている。	振り返りを行うことは出来ているが、記録に残していないことが多いので、記録に残すようにしていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		活動の様子や状態などを細く記録に残している。	継続して行えるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		モニタリングを行い、見直しを行っている。職員間でも共有を行っている。	モニタリングでの内容を周知して、みんなで見直し確認が行えるようにしていきたい。
	24	放課後等デイサービス計画ドラインの「４つの基本活動」を踏まえ組み合わせて支援を行っているか。	3	1	４つの基本活動を組み合わせて支援を行っている。	４つの基本活動に沿ってまだ出来ていない職員がいるので改善を行い、みんなで、基本活動にあった支援を行えるようにしていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされているか。自己決定をするための支援を行っているか。	4		子どもが自分で選択できるように、ホワイトボードに記入したり、子どもの好きな物などを記載して行っている。	そのやで自己選択できないことも、より細かく選択肢を与えてあげるような工夫が必要だと思った。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことどもの状況を正く理解した者が参画しているか。	4		子どものことを理解する職員が参加して、ミーティングができない場合もあり、参加できない場合や、事業所に話を聞いてくれる関係を築きたいと思う。	ミーティングができない時もあるので、ミーティングできるように計画的に行なっていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		学校側以外との連携が取れていないので、取れるようにしていきたいです。	学校側以外との連携が取れていないので、取れるようにしていきたいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定表の交換、こどもの下校時間の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		お迎えの時に、今日あった出来事などを話かく確認を行っている。	継続して情報共有をしていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	保護者や相談員から情報を聞いている。	年齢が高い利用児が多いため、就学前の保育園などの情報共有ができていない。
	30	学校や幼稚園、放課後等デイサービスから障害児相談支援事業所に情報共有を行っている。	4		相談員から情報を共有することができている。	情報共有することが出来ているので、これからも継続して行えるようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	系列事業所と連携を行い、研修などを受けている。	これからも継続して連携をとるように努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	系列の児童デイとの交流を行っている。	今後も交流できる活動を増やしていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		協議会に参加したことがないので、参加できるように努めていきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通認識を持っているか。	4		連絡帳や送迎時こどもたちの様子を伝える ようにしている。	今後も継続して行なっていきたい
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加する研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		子育てについての悩みや専門の先生に相談を行う研修を行っている。	今後も継続して行なっていきたい
保護者へのの説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	事業に入る前に、事前に運営規定やプログラムなどの説明を行っている。	わかりやすくお伝えできるように、マニュアルを作成したいと思っています。
	37	放課後等デイサービス提供を合理する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最適の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		会議の場で子ども達が参加できるのであれば参加を行い意見を聞いています。また、個別に話をしたりすることがある。	子ども達と個別で話をできる環境を作っていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を定しなどが支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		同意を得ています。	継続して取り組んでいます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、個別や必要な助言と支援を行っているか。	4		研修などを行い、職員や専門の先生を交えて子育てに対しての相談を行っている。	継続して行えるようにしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等による、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	BBQなどを通して利用児以外の兄弟も参加できる企画を練っています。	今回は、企画することができなかったのでお流の場が設けられるように企画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が寄った場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった際は、職員間上で情報共有を行い迅速に対応できる体制にしている。	苦情が入った際の対応マニュアルなどを作成してみんなで共有できるようにしていきたいと思います。
	42	定期的に通信等を発行するこどもや、HPやSNS等を活用するこどもに対し、後援団体や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ホームページで活動状況の様子を表示している。	保護者の不にはホームページやSNSを使ってお知らせ等の情報がたりないなどの実情がある。また、カームーンでだけでなくSNSを活用しずらくなる様子を手間に職員でできるように工夫していきたい。
非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		十分に行えている。	今後も個人情報の取り扱いには十分に留意して取り組みます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		ラインやメールなどのツールを使い、情報伝達を行っている。また、無意識な言葉づかいなどに対して注意喚起を促へ、子どもの伝えたいことを聞き出せている。	最ゃにあわせた情報伝達をこれからも行なっていきたい。
	45	事業所の行事に地域社民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		事業所でのバザーを行い、保護者だけでなく学校の先生も来てくれました。	地域向けの活動を行ったことがないので、少しづつ取り組むように努めていきたいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	各マニュアルを作成し、実施している。	引き続き適切な対応ができるように努めていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年に２回避難訓練を行なっている。	定期的に訓練を行い避難場所の確認、また、近隣での避難場所など利用実情踏まえ行っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		子ども毎の状況は常に確認し対応を行なっている。	今後も服薬があるさいには、子ども達と一緒に服薬の確認や時間などを確認しながら行なっていきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づく対応がされているか。	4		医師の指示を保護者から伝えて薬い対応を行なっている。アレルギーのあるチビには、どんなアレルギーを持っているのか確認をしている。	食物アレルギーがあるのに、確認をせなくているので完治確認、おやつなどの配慮をしていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたやで支援が行われているか。	4		安全計画の作成し、話しあい出来ている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットがあった際は、情報共有を行い、再発防止に向けて対策を考え周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を立ち上げて取り組んでいる。研修を行いみんなで確認を行なっている。	
	54	どのような場合にやりたを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で身体上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	やむ得ずに身体拘束を行う際に同意書の作成を行い、保護者からの承諾している。	